



Since 1937

CEF ニュース

No.146 2020. 秋号

(1)

このように、この小さい者たちのひとりが滅びることは、天にいますあなたがたの父のみここではありません。マタイ 18:14

「ハンナの注ぎ出す祈り」

臼井 信博



「いいえ、祭司様。私は心に悩みのある女です。ぶどう酒も、お酒も飲んでではありません。私は主の前に心を注ぎ出していたのです。」
サムエル記第一15章15節

エルカナの妻ハンナは、子どもが与えられないということで悩んでいました。それは、当時の社会では、女性として大きな悩みの原因となることでした。また、エルカナのもう一人の妻ペニンナには子どもが与えられていましたから、なおさらです。夫エルカナに苦しい心を打ち明けても、解決はしません。

聖書は「主がハンナの胎を閉じておられたからである」と記しています。夫エルカナや彼女の罪や失敗ではないのです。神様の摂理であり、ご計画があったということなのです。このようなときは、人が一生懸命計画をたて、実行して解決を得ていこうとしても、なお良い結果が得られないときなのです。

福音宣教にも同じように感じる時があります。計画を立て熱心に実行しても、何の前進を見いだすことが出来ないときです。私たちの人生の中でも同じようなときがあることでしょう。しかし、このハンナの記録は私たちに希望を与えます。聖書は「…それから彼女は帰って食事をした。その顔は、もはや以前のようではなかった。」(1サムエル 1:18)と記しているからです。

彼女の心は悩みから解放され、顔は晴れやかになりました。一体なにがあったのでしょうか。10 節では「ハンナの心は痛んでいた。彼女は激しく泣いて、主に祈った。」と記しています。そして 11 節に「…男の子を下さるなら、私はその子を一生の間、主にお渡しします。」と誓願をします。自分の痛みと嘆きの祈りは、11 節では神様に捧げる誓願の祈りとなっています。簡単にこのような祈りにたどり着いたとは思いません。

「主の前で長く祈っている間」(1:12)と聖書は記しています。ハンナはその祈りを「私は募る憂いと苛立ちのために、今まで祈っていたのです。」(1:16)と告白しています。子が与えられないことへの絶望と屈辱、ペニンナへの恨み、夫エルカナへの不満などを神様の前に全部祈りによって注ぎ出したのです。神様はハンナの「憂いと苛立ち」を受けとめて下さり、心を整えて下さいました。そしてハンナは、自分の「憂いと苛立ち」を解決するために子どもを求めるのではなく、神様に委ね献げるために子どもを求めるものとなりました。

その告白を聞いた祭司エリは「安心して行きなさい。イスラエルの神が、あなたの願ったその願いをかなえて下さるように。」と言葉をかけました。ハンナは自分の祈りを神様は聞いて下さったと実感します。彼女の顔は「憂いと苛立ち」の顔ではなくなりました。

ハンナは良いことも悪いこともすべて神様に祈りによって注ぎ出しました。そして神様に委ね献げる信仰が与えられ、神様が祈りを聞いて下さったとの確信が彼女を変えたのです。私たちも又、神様に祈りを注ぎ出しつつ、「時が良くて悪くても、福音を宣べ伝えて」行きたいと思えます。

(日本福音キリスト教会連合 石岡キリスト教会牧師)

すべての子どもたちの救いのために祈ろう！

CEF世界祈祷日 11月4日(水) 24時間連鎖祈祷

— 申し込み用紙に記入し、本部にお送りください。(FAX、メール可) —

デポーション・デイキャンプ



デポーション・デイキャンプ

8月21日(金)にCEF本部でデポーション・デイキャンプが開かれ、創世記4章と5章を読み、分かち合いました。子ども5人、大人12人、スタッフ6人、合計23人出席し、神さまの大きな愛につつまれ、守られ、祝福されたときを持つことができたことを感謝します。ぬらし絵の指導に福島から名木聡子姉が来てくださいました。(各自描いた絵を持って集合写真を撮りました。)宣教国、パキスタンについてお話をするために山口礼子姉も来てくださいました。子どもたちの感想文をお分かちします。

★いろいろな人と会えてすごく楽しかった。

(小5男子)

★パキスタンではまずしい子どもたちもいるのだということが分かりました。デポーションでもいろいろなことが分かって良かったです。(小5女子)

★パキスタンの話を聞いて、パキスタンの人たちは日本の子どもとは違って、10~12才の子どもたちが親に決められて結婚することになるのだと思った。大人になっても言葉の分からずに人などがいるのだなと思った。けれど、すてきな国だと思いました。

(中2女子)

★創世記4章「なぜ神様は、カインのそなえものを受け取らなかったのかと思いました。」(小5女子)

★創世記4章「私は14,15節の中でカインは『私を見つけた人はだれでも私を殺すでしょう』と言ったけど、主は『それゆえわたしは言う。だれであれカインを殺す者は七倍のふくしゅうを受ける』と言っていました。私は何でカインはアベルを殺したのに七倍のふくしゅうがあるのかなと思いました。」創世記5章「ふつうだったら120才、130才ぐらいでも長生きというのに930才、850才まで生きていてとてもびっくりしました。」(小4女子)

福島TCEレベル1集中コース



福島TCE1集中コース

8月25日(火)~28日(金)に福島県いわき市の新よね旅館を会場に開かれたTCEレベル1集中コースで5人の受講生が学ばれました。そのうちのひとりラインで学ばれました。受講生の証しをお分かちします。

★神さまは伝道への切なる心を回復してくださいました。特に、罪の認識がよりシンプルになったことで、赦された喜びを伝えたい思いが湧いてきました。そして、伝える時の言葉、姿勢が重要であることも深く悟りました。決めつけるような言葉を使わないこと、福音を聞く相手が人格的にみことばと向き合えるように寄り添うことを心に刻みました。また、先生方、参加者の方々とのお交わりで与えられた癒しの時間にも心から感謝致します。

(相川 木綿子)

★我が家のすぐ側に、団地の公園と県営のアパート四階建が6棟あります。子どもとお年寄りが多いです。前から気になっていました。どうするか問われています。以前から一人の姉妹が夫へ伝道することを勧めていました。いよいよ時が近づいた感じがします。子どもとお年寄りに伝道するのは、夫へ伝道してからと勇気が、わいてきます。恐れを神さまが取り除いてください。早速8月30日の礼拝後、小学生3,4年生の男の子と女の子に急きょ、「字のない本」をしました。二人ともイエスさまを信じると言ってくれましたが、たったり、座ったり、バナナを食べながら、罪は言い表すなら、赦されることは、伝え、私が祈って終わりました。難しかったです。聖書のお話、暗唱聖句、一連のレッスンを作って、練習しようと思っています。以上、CEFの働きを祈り、私も祈っていただいてここまで来たことこれからのことを感謝します。レッスンの中で、魚釣りや戸外に出て、神さまの強い導きがとても印象に残り、先生たちが日に焼けておられる意味が深くジーンと伝わってきました。もうすぐ73歳。少し悩みます。ありがとうございました。

(尾田 イネ)



パキスタン宣教 山口 礼子姉

ぬらし絵

デポーションの分かち合い

★今回CEFの学びに参加させていただきましてありがとうございました。全体をとおして福音を分かりやすく伝える大切さを学びました。初日に学びました「字のない本」は、御言葉に基づいてシンプルにまとめられており、私自身の福音の整理に役立ちました。福音を伝えるためには外に出て行かないといけないうこと、外に出ていくためには神さまの子どもとして祈りによって助け手である神さまに信頼することを覚えて福音宣教に励んでゆきたいです。(早野 辰哉)

★この度、「子どもに効果的に教える(TCE)」レベル1集中コースに参加できて、本当に主に感謝します。しかし、実際講義と発表はつらいこともありましたが、ところが、もうすでに知っている福音でも使わないとさらに、伝えないという思いでいっぱいでした。もう一度福音の前で立たせてくださったよいチャンスでした。魂を愛する者に知恵を注ぎ、主を愛する者にもっとはっきりした希望も与えてくださると確信する学びでした。これから、主の導きを信頼しつつ実践も頑張ります。

(鄭 琿禎[ジョン スジョン])

★感謝なことばかりです。日常から完全に切り離され集中できました。新型コロナの中、感染防御を徹底して、かつ料金を抑えて、会場を提供してくださいました。先生方が素晴らしいです。DVDでなく、直接お会いしたかったです。システムがきちんとしていて、自分の足りない所がはっきりしました。私の能力では時間が足りないようにも思いましたが、これ以上長くと集中力が続かなかったと思います。これで練習すれば、行けると思っています。有難うございました。

(吉野 紀子)

四倉教会TCEレベル1



四倉教会TCEレベル1

2018年9月から2020年2月まで、途中に休みが入りましたが、福島県の四倉教会を会場に月1回のTCEレベル1コース(10回)が開かれました。受講生の証しをお分かちします。

★TCEレベル1を受講することができ感謝でした。月に一度の学びは、集中力が必要でしたが、一緒に参加された方々の学ぶ姿勢に励まされながら、最後まで学ぶことができました。児童伝道の基本を改めて具体的に学ぶことができ、目が開かれる思いでした。聖書物語の中に救いの真理をわかり易く、子供の目線で語ることの大切さを教えられました。毎月、遠くまで講師として来てくださった高先生に感謝します。

(上代 安子)

★私は、神様が天のお父さんだと気づいて、教会に通い始めました。当時、実の親子関係が悪く、最初は天のお父さんと自分の父親を重ねていましたが、聖霊さまに出会い変わりました。聖書を読み、イエス様の言葉を受け取りながら、天のお父さんを信頼し、祈り、行動しました。やがて、実の家族を愛することができるようになりました。レベル1は、具体的な実習なので、《伝える方法》を身体に落とし込むことができました。神様と高先生、姉妹に感謝です。(名木 聡子)

★2018年9月から2020年2月まで1年5ヶ月かけて、お休みの回もありましたが毎月1回4時間の受講を致しました。毎回の学びの講師を高先生がお一人で担って下さり、濃厚で充実した何とも贅沢な学びでした。改めて感謝を申し上げます！子育て中で、まとまった時間を取れないので、毎月少しずつ学ぶ機会を与えて頂けて有り難かったです。私は中学生の時から、教会学校の手伝いをしており、高校生の頃からお話しもさせて貰っていたので、子供に聖書の話しをする機会が多くありました。母が若い頃にCEFの学びを泊まりがけでやったそうで、その母から視聴覚教材の作り方や聖書メッセージの仕方などを教わってきましたが、今回のようにじっくりと体系的な学びをした事がありませんでした。レベル1の学びは、グローバルな視点でかつ子供の持つ特性を細かく知る事と、聖書の教えをバランス良く、また、重要なポイントをしっかりと教えて頂きました。私が、1番身についたというか叩き込まれた学びは、字のない本の内容です。それぞれのページの意味と聖書のみことばの箇所を深く知る事ができ、本当に良かったです。実際にメッセージのプラクティカムを行ったので、自分が分かっていない点も具体的にはっきり知る事ができました。子供に伝道する時に、みことばから迷わず、ストレートに語り、導く事ができる素晴らしい内容の学びでした。今、与えられている教会学校の場で、救われる子供が起これ、信じている子供がみことばによって強められる事を願いつつ奉仕していきたいです。(星 美穂)

森本憲夫宣教師主の御許へ



タイ国宣教師、森本憲夫（トシオ）先生は8月23日に主の御許に行かれました。森本先生は88才でした。タイには、1962年10月から行かれ、召される日まで豊子夫人とともに、また最近では三男の満師とも一緒にタイで宣教師として奉仕しておられました。森本先生はタイCEFでも奉仕しておられ、タイでCEFのAP（アジア・太平洋）地区カンファレンスが開かれたとき、日本CEFから参加した私たちも大変お世話になりました。先生のお働きの実が、特にタイで、豊かに結ばれますように、またご家族の上に豊かな恵めがありますようにお祈りします。

テポーションキャンプの日程

子どもと一緒に

茨城 ライトトーク
金 18:00-土 13:00
10/9-10/10
11/13-11/14
12/11-12/12
1/8-1/9

福島 新よね旅館
金 18:30-土 9:30
10/16-10/17
11/20-11/21
12/18-12/19

グッドニュースクラブ子ども伝道講習会

今年のグッドニュースクラブ子ども伝道講習会は聖書レッスンが「創造」5課（創造、アダムとエバ、カインとアベル、エノク、ノア）、宣教国はパキスタン、宣教師は金光宣教師、宣教物語は「神さまのためにベストを尽くす」（エリック・リデル）です。本部と日本弟子たちの教会（川口）は5月、6月に終り、国立の家庭集会、新よね旅館は月1回で継続中、淀橋教会は9月8日（火）から始まります。陣馬高原キリスト教会は未定です。

淀橋教会 9/8-10/13 毎週火曜日 10:30-12:00
世田谷中原教会 10/4, 10/11, 11/8, 1/15, 11/22 日曜日
14:00-15:30 10/11のみ 14:30-16:00
家庭集会（国立市） 10/6（火）（5課）10:30-12:00
新よね旅館 9/19, 10/17, 11/21, 12/19 10:00-11:30

クリスマス準備会中止のお知らせ

クリスマス準備会は中止となりましたが、下記のクリスマス教材をご使用いただけます。
紙芝居教材：ミス・パンプ、だれの誕生日、個人伝道：いちばんたいせつなプレゼント、トラクト：クリスマスの色など他にもクリスマス教材がございますので詳しくは日本CEFまでご連絡ください。

お知らせ CEFニュース夏号は新型コロナウイルスの影響で発行中止となりました。そのため、夏号に掲載を予定していました上代安子先生のメッセージは「祈りの友」174号に先生のご了解を得て掲載しました。また夏号に掲載予定の「会計報告」も「祈りの友」に掲載しましたが、今回、夏号の会計報告と、秋号の会計報告の両方を掲載させていただきます。

献金(2019年12月-2020年3月)	収入(12-3月)	支出(12-3月)
12月 1,379,677	献金 3,636,535	人件費 1,944,000
1月 707,003	謝礼 140,000	運営・管理費 1,328,825
2月 665,647	教材売上 290,517	什一献金 294,576
3月 884,208	教育部 6,000	
合計 3,636,535	合計 4,073,052	合計 3,567,401

会計報告 尊い献金を心から感謝いたします

献金(2020年4月-7月)	収入(4-7月)	支出(4-7月)
4月 565,727	献金 4,374,855	人件費 2,146,000
5月 534,000	謝礼 30,000	運営・管理費 1,303,515
6月 1,890,327	教材売上 214,075	什一献金 246,150
7月 1,384,801	教育部 20,000	
合計 4,374,855	合計 4,638,930	合計 3,695,665

CEF(児童福音伝道協会)は、福音を聞かずにいる子どもたちをキリストに導き、霊的成長を助け、福音的教会に結びつけるためにキリストのからだなる教会に仕える組織で、諸教会および主にある兄弟の祈りと献金により支えられ、奉仕しています。

発行日/2020年10月1日 発行/日本児童福音伝道協会 〒311-3434 茨城県小美玉市栗又四ヶ 2421-6

Tel (0299)28-2031 Fax (0299)28-2028 振替 00160-1-59313

Email japancef@cef.or.jp 本誌のURL http://www.cef.or.jp